

保護者様各位

愛知県立瀬戸高等学校長 八木 敬彦

## 麻疹（はしか）の流行について

新聞等で報道されているとおり、瀬戸市においても、感染者が報告されました。

麻疹は、感染力が極めて強く、感染するとほぼ100%が発症し、肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1000人に1人の割合で脳炎を発症すると言われています。

幼少期に予防接種をしている場合が多いため、現在では麻疹にかかる人はほとんどいない環境にありますが、予防接種を受けていなかったり、1回の接種で免疫がしっかりつかなかったりした人たちの間で感染が拡大しています。

＜原因＞	麻疹ウイルス
＜感染方法＞	空気感染（患者がいれば、その空間にウイルスが漂っていて吸い込む） 飛沫感染（会話や咳、くしゃみのしぶきでウイルスが拡散する） 接触感染（会話と直接接触れあうことで、ウイルスが侵入する）
＜潜伏期間＞	10日～12日
＜症状＞	38℃程度の発熱、咳や鼻水といった風邪に似た症状が続き、その後、全身に発疹が出る。口の中に白い斑点（コプリック斑）が見られることが特徴のひとつ。重症化すると、合併症を起こし死亡することもある。
＜予防方法＞	ワクチン以外効果的なものはない。（マスク、手洗い、うがいは効果なし）

麻疹を疑う症状があった場合は、必ず受診前に医療機関に連絡し、麻疹を疑う旨を伝えた後、医療機関の指示に従い早急に受診してください。また、受診の際は、周囲に感染を拡げないように公共交通機関の利用は避けてください。

ご家庭におかれましては、麻疹にかかったことがあるか、予防接種をうけているのか（「麻疹」または「麻疹・風疹（MR）」の予防接種履歴）を母子健康手帳にて、今一度ご確認くださいようお願いします。

★麻疹について、ご不明な点やご心配な点がございましたら、以下のところへお問い合わせください。

＜4月28日（土）から5月6日（日）まで＞

愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課 感染症グループ

電話番号：052-954-6272（ダイヤルイン）

受付時間：午前9時から午後5時まで

＜5月7日（月）以降＞

愛知県健康対策課または最寄りの保健所にご連絡ください